

▲ 維持管理上の注意事項

スプリンクラーヘッドにものを貼り付けたり、ひっかけたり、ぶらさげたりしないでください。

スプリンクラーヘッドに変形が発生し、火災発生時に本来の性能が発揮できなくなったり、漏水や誤作動の原因となります。外的衝撃や力の加わり方によっては、直後には現象が出なくても、一定の期間を経た後に漏水や不時放水が突然発生する場合があります。



スプリンクラーヘッドにライターなどの火やドライヤーの熱を近付けないでください。

熱によりスプリンクラーヘッドが作動し、水が放出するおそれがあります。スプリンクラーヘッドの真下にストーブなどの暖房器具を置かないでください。熱によりスプリンクラーヘッドが作動し、水が放出するおそれがあります。



スプリンクラーヘッドの周辺には、散水障害となるようなものを設置しないでください。

スプリンクラーヘッドの周囲300mm、下方450mmの位置には何もあってはならない事が消防法で決められています。カーテン、垂れ幕や家具などにより散水障害の発生しないように注意してください。



夏期等、環境温度の上昇による配管内圧力の上昇に注意してください。

スプリンクラーヘッドには使用圧力範囲が定められていませんが、スプリンクラーヘッドと接続させる可とう管や流水検知装置等の機器には使用圧力範囲が定められており、最高使用圧力は1.4MPaや1.0MPaとなっています。配管内圧力が上昇する場合には、最高使用圧力を越える事のないよう、調整してください。



配管内の水が凍結しないように注意してください。

凍結の発生したスプリンクラーヘッドは内部部品の破損や漏水事故に至るばかりでなく、火災発生時に正常な消火性能が発揮されない可能性があります。



スプリンクラーヘッドの取付け環境によっては、緑色の錆(緑錆)が生じる場合があります。

緑錆の発生した場合には、止水部分にも錆の発生している可能性があります。そのような場合には、性能の劣化が予想されますので、専門家に調査をご依頼ください。



スプリンクラーヘッドの一部には鉛やカドミウムなどの合金が使用されています。

スプリンクラーヘッドの廃棄に際しては、諸法令に沿って行うか、または廃棄物専門業者にご依頼ください。



スプリンクラーヘッドの作動時には、部品が落下します。また、多量の水が放水されますのでご注意ください。

作動・分解した部品は調査試料とする場合がありますので回収してください。尚、回収した部品はお子様などの手の届かない場所に保管してください。



その他御不明な点がございましたら下記迄御問い合わせください。

IS 株式会社 立売堀製作所

東京支社 東京都台東区台東4-8-7 仲御徒町フロントビル Tel.03-5688-3121 Fax.03-5688-3110
中部支社 名古屋市千種区今池4-1-29 ニッセイ今池ビル Tel.052-732-8891 Fax.052-732-8896
大阪支社 大阪市西区立売堀1-10-10 Tel.06-6538-1231 Fax.06-6533-6708
西部支社 福岡市博多区博多駅南2-1-5 博多サンシティビル Tel.092-471-1661 Fax.092-471-1662

札幌営業所・仙台営業所・横浜営業所・静岡営業所・京滋営業所・広島営業所・四国営業所・沖縄営業所

御使用前に必ずお読み下さい

この度は、弊社製スプリンクラーヘッドを御採用いただき誠に有難うございます。本製品は厳しい品質管理の元で製造され、高度な品質と性能を誇る製品でございます。しかし、使い方を誤ると本来の性能を発揮出来ない事は言うまでも無く、消火性能を失う場合があります。

施工業者様に於かれましては、本書の全項目をよくお読み頂き、ご理解のうえ、ご使用下さいます様お願い致します。また、御施主様へは、施工業者様が内容をよくご説明の上、お渡し下さいます様お願い致します。

設置後の設備管理にあたる方に於かれましては、本書をよくお読みのうえ、関係者に周知してください。尚、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

▲ 受入時のお願い

示温ラベル(サーモカラーセンサー)が黒く変色している場合は、使用しないでください。

示温ラベルの感熱部が黒く変色している場合は、製品が50℃以上の温度にさらされた事を示します。その様な状態では機能障害を起こすおそれがあります。



梱包箱に異常のある場合は、弊社に申し出てください。

輸送運搬時の取扱により、梱包箱に外傷・変形・破損・水濡れなどの異常がないかお調べください。異常のある場合は、製品に異常を及ぼすおそれがありますので、直ちに弊社に申し出てください。



感度種別・標示温度に間違いのない事を確認してください。

弊社製フラッシュ型スプリンクラーヘッドには、高感度r2.8・高感度1種r2.6・標準型2種r2.3・小区画型(共同住宅用K50・水道連結型K43・水道連結型K30)があり、それぞれに標示温度72℃と96℃があります。

お求め頂いたものと相違のない事を確認してから御使用ください。



※水道連結型ヘッドを水道直結方式で設置される際は、あらかじめ所轄水道局様に御相談してください。

地域により、届出書類の提出や停滞水の防止措置などの指導がある場合があります。施工に関しては、スプリンクラー配管の末端(トイレなど)に、必ず給水栓などを接続し、配管内の水が停滞しない様にしてください。

▲ 保管における注意事項

梱包箱に明記した注意事項やケアマークの事項を厳守してください。



製品は涼しい場所に保管してください。

高温多湿、振動のある場所、腐食性ガスの発生あるいは滞留する場所を避け、直射日光の当たらない涼しい場所(39℃未満)に保管してください。

特に、真夏の車内は高温になりますので、スプリンクラーヘッドを放置しないでください。



▲ 施工における注意事項

設置及び施工に関しては、消防法施行令、施行規則、及び諸法令に沿って行ってください。

取り付け場所の最高周囲温度に応じた標示温度のものを使用してください。

取り付け場所の最高周囲温度は、消防法により定められています。

標示温度	最高周囲温度
72℃	39℃未満
96℃	39℃以上64℃未満



⚠ 施工における注意事項

配管内のフラッシングを充分に行い、異物を取り除いてからスプリンクラーヘッドを取り付けてください。

スプリンクラーヘッドに異物が詰った場合、消火に必要な水量が得られず、消火性能が損なわれます。

消火性能

スプリンクラーヘッドには、塗装やめっき等を施さないでください。

火災時に、正常に熱(火災)感知が出来なくなるおそれがあります。

消火性能

スプリンクラーヘッドには取付方向がありますので、取付方向を間違わないでください。

SSP: 下向き SSU: 上向き

弊社製フラッシュ型スプリンクラーヘッドの取付方向は下向き、フレーム型スプリンクラーヘッド(SP-GGU型)の取付方向は上向きです。

消火性能

天井ボードに取付孔の中心の位置決めを行い、直径50mmの孔をあけてください。

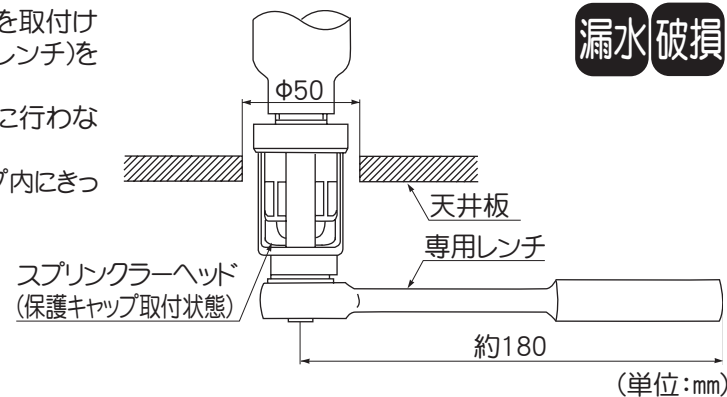
孔が小さすぎるとヘッドレンチ(外径40mm)が入らず、大きすぎるとシーリングプレート(外径65mm)による目隠しが出来ません。中心の位置決めを行い、直径50mmの孔をあけてください。

漏水 破損

不時放水 消火性能

取付は、保護キャップを付けたままで、必ず専用レンチを使用してください。

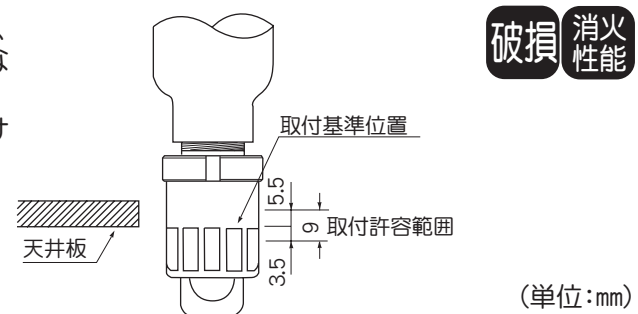
ネジ部にシーリングテープ等を付け、保護キャップを取付けたままの状態、必ず専用レンチ(FR型専用レンチ)を用いて取り付けてください。
パイプレンチ等の汎用工具での取付は、絶対に行わないで下さい。
スプリンクラーヘッドをヘッドレンチスパナキャップ内にきちりと入れ、安定した状態で取付けてください。



漏水 破損

天井ボードからの突起寸法は取付許容範囲内になる様に施工してください。

保護キャップで確認出来る取付基準面を目印とし、9mm(出側5.5mm 入側3.5mm)の取付許容範囲内になる様に設置してください。
許容範囲を越えると、シーリングプレートを取り付けることが出来ず、散水にも影響します。



破損 消火性能

落としたり、物をぶついたりしたスプリンクラーヘッドは使用しないでください。

落下や外的衝撃を受けたスプリンクラーヘッドは、その時に異常の無い状態であっても、一定期間を経た後に漏水や分解作動に繋がる可能性がありますので使用しないでください。

漏水 不時放水

一度使用したスプリンクラーヘッドは使用しないでください。

配管継手等への締込・取外しの際に発生する歪み等の影響により、製造時異なる状態になる可能性があります。再使用されたスプリンクラーヘッドの保証は致しかねます。

漏水 不時放水

シーリングテープの巻き過ぎ、スプリンクラーヘッドの締め込み過ぎには注意してください。

スプリンクラーヘッドの締めトルクは20N・mを目安として、30N・mを越えない範囲で行ってください。

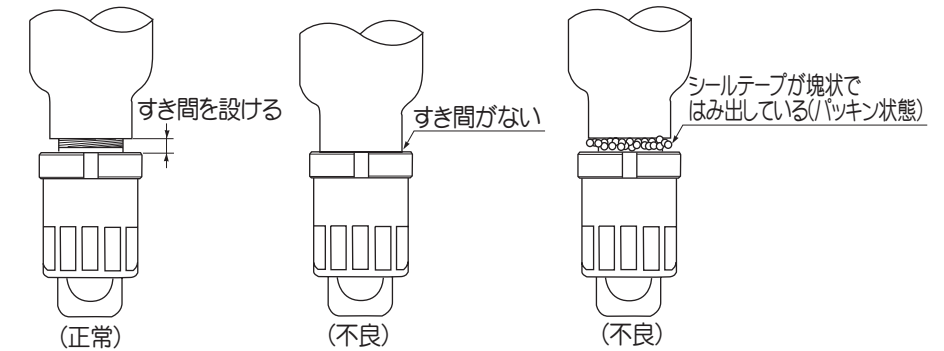
継手とスプリンクラーヘッドの間には隙間をあけてください。

過剰な締めトルクによる締め込み過ぎは、漏水の原因となります。また、シーリングテープの巻き過ぎは、漏水などの原因となりますので注意してください。

過剰な締め込みは、スプリンクラーヘッドの内部部品の組立て状態に狂いが生じ、漏水の発生につながります。

漏水 破損

不時放水 消火性能



取付時、ねじ部のシーリング材はシーリングテープを使用してください。

液状シーリング材を使用した場合、ノズル内部に入り込んだシーリング材により、火災時に正常に作動しなくなる恐れがあります。

また、経年によりシーリング材の割れにより、ねじ部から漏水が発生する可能性があります。

漏水 消火性能

スプリンクラーヘッドを可とう管(フレキシブル配管や樹脂配管)に取付けた後、天井面に設置する際、保護キャップの取付けられた状態であっても、可とう管を落下させたり、天井材・仕切材や床面などにぶつける等の状態が発生しない様に注意してください。

落下や外的衝撃を受けたスプリンクラーヘッドは、その時に異常の無い状態であっても、一定期間を経た後に漏水や分解作動に繋がる可能性がありますので使用しないでください。

漏水 不時放水

配管内の水は水道水を使用してください。

酸性、アルカリ性、塩分を含んだ腐食性のある水は使用しないでください。

止水部に腐食の発生する事があり、漏水の原因となります。

漏水

直射日光の当る場所や熱を発する照明器具の近く、エアコン等の熱風吹き出し口の近くにスプリンクラーヘッドを設置しないでください。

直射日光や、暖房器具からの熱風により、スプリンクラーヘッドが高温になり、漏水や分解作動に繋がる可能性があります。

また、火災発生時には、エアコン等の風により火災による熱が拡散され、感知の遅れが発生する場合があります。

漏水 不時放水

消火性能

人や物がぶつかり易い場所に設置するスプリンクラーヘッドには、専用の保護カバーを御使用ください。

埋込使用には保護カバー(PBT樹脂製)、露出使用には保護カバーR(金属製)をご使用ください。扉の開閉や荷物の収納等による接触や衝突の発生しない場所に設置してください。

漏水 不時放水